太古からの歴史ロマンと南北朝合戦の街。

兵たちの足音が聞こえるまち

南北朝時代には大宰府をめぐっての攻防戦が繰り広げられた「合戦の街」
いまは、その合戦の夢の跡はみえないが命を賭けた古の戦場を訪れてみよう



南北朝の争乱を壮大なスケールで描いた中世戦記文学の傑作『太平記』巻33には、「菊池合戦ノ事」という段があります。

言うまでもなく、小郡市域で展開された有名な『大保原（大原）合戦』のことです。

1359年（正平14年・延元４年）８月、懐良親王・菊池武光を中心とする南朝方と少弐頼尚を中心とする北朝方が総勢数万人の軍勢で戦い、両軍合わせて戦死者5,400人以上を数えたと言われています。

合戦の２年後、南朝方は大宰府に入り、約10年間九州を支配下に置いていました。

平成21年は合戦からちょうど650年にあたり、これを機に有志により記念碑が建てられました。



●大原合戦図屏風（小郡市教育委員会所蔵）

現在の小郡市を中心に、1359年におこった中世九州最大の合戦「大保原（大原）合戦」を描いた屏風。作者の甲斐青萍（かいせいひょう）は熊本出身で、菊池一族を題材にした作品を多く残しています。この作品でも菊池武光を中心に、南朝方が優位に戦いを進めるようすが描かれています。



福童の将軍藤
【福岡県指定天然記念物】

征西将軍宮懐良親王が大保原（大原）合戦の際に深手を負い、その傷の回復を大中臣神社に祈願したところ、その加護で全快したことに感謝して奉納したと伝わる藤の木。胸高周囲2mで、被覆面積は500㎡にも及びます。

恋人の聖地

NPO法人 地域活性化支援センターが日本全国のプロポーズにふさわしいロマンチックな場所を「恋人の聖地」として認定しています。小郡市では、たなばた伝説の里として、平成25年10月に七夕神社及び縁結びに関連するスポットが「恋人の聖地」として認定されました。

ラブパワースポットへ行ってみよう！

聖地へGO!

七夕神社
Tanabata Shrine



恋人の聖地銘板

あなたの恋が叶いますように！

貴方の恋を応援します





七夕神社

「七夕の里づくり」のきっかけとなった「七夕神社」には、媛社神と織女神がまつられています。昔は裁縫や機織りが上達し、良縁が得られると伝えられていました。

ハートの光る石を見つけてね！